

**留学先国名** : オーストラリア

**留学先学校名** : クイーンズランド大学

**留学期間** : 平成 28 年 2 月 8 日 ~ 平成 28 年 11 月 30 日

### **留学中の生活**

まず現地の学生との交流について、次にクラブ・サークル・学外でのコミュニティでの活動についてと長期休暇中の過ごし方について、そして最後に典型的な 1 日のスケジュールについて報告させていただきます。

まず現地の学生との交流ですが、オーストラリア英語が難しかったことと、自分がオーストラリアの文化をあまり知らなかったことから、友達には日本語が話せるオーストラリア人が多かったです。アジア人はやはり親近感があり、全体的に日本に興味を持ってくれる人が多いため、自然と仲良くなりました。次に大学内のクラブ活動ですが、Wasabi Club という日本語を勉強したい現地の学生向けの言語交換グループがあり、毎週参加していました。学外では、DJ が趣味だったため、Facebook で見つけた地元の DJ コミュニティによく参加していました。長期休暇は一ヶ月ありましたが、前半の Semester で現地の学生のディスカッションについていけず非常に悔しい思いをしたため、あまり旅行には行かず英語を勉強していました。そして 1 日のスケジュールですが、平日は毎朝四時に起き、夜は九時に寝る生活を続けていました。現地の学生と全く同じカリキュラムをこなしていただけてだけでなく、英語の勉強も続けていたため、時間を作るために規則正しい生活を維持していました。近所のスーパーや、少し遠出して日本の食材が売っている食料品店にも行っていたため、基本的に毎日自炊していました。大学周辺にはとても美しいランニングコースがあったため、勉強の息抜きに毎日ランニングしていました。

### **留学の成果**

最大の成果は、留学生活を通じて英語を使ってコミュニケーションをとることに対する自信がついたことです。私は留学に行った当初はネイティブが話していることがほとんど聞き取れず、また自分の話も一回で伝えることができなかつたため、周囲の人とコミュニケーションを取る自信がありませんでした。そこで自分が英語を話せない理由を考えてみたところ、英語は省略と変形が大変多い言語のため、発音ができるようになればスピーキング能力だけでなくリスニング能力も高まるのではないかと考えました。そしてまず半年以上かけて全ての母音と子音の発音を練習し、その後でネイティブの英語フレーズを繰り返しながら英語らしい音の上がり下がりや強弱を学びました。その結果、リスニング能力が大幅に向上しただけではなく、TOEIC では 955 点(Listening 495 点、Reading 460 点)を取得することができました。これらのことが自信になり、帰国後には積極的に大学の留学生交流サークルや、学外の外国人コミュニティにも足を運ぶようになりました。

学業の面では、自分の専門を深めることができただけでなく、自分のキャリアに役立つ科目を取得し、さらには自分の興味があった科目も取得できました。具体的には、[ECON3510] International Trade Theory & Policy、[ECON2040] Macroeconomic Policy、[ECON2560] Economics of Globalisation and Development の授業では、自国と外国という簡単な枠組みだけでなく、先進国と新興国、あるいは資本集約的な国と労働集約的な国、などより複雑なモデルを学習し、専門の国際経済学をより深く理解できました。また私は、商社、金融、メーカーを軸に就職活動しようと考えているため、これらの業界に関係の深い、[ECON2200] Management of Financial Institutions と [ECON2320] Business & Economic Decision Techniques を受講しました。最後に、私は MBA 取得にも興味を持っているため、アジアオセアニア地域で屈指のビジネススクールである UQ Business School の開講する、[MKTG1501] Foundation of Marketing、[MGTS1301] Introduction to Management、[MGTS1601] Organisational Behaviour も取得しました。

### **留学で得たことをどのように生かしていくか**

私は残り一年の大学生活で、グローバルな人材交流の接点となることが目標です。先日の留学生交流パーティーで、自分とは違うキャンパスで言語交換パートナーを探している留学生を見つけましたが、紹介できる友達が誰もいなかったことに不甲斐なさを覚えるとともに、これだけ英語を勉強している日本人がいる中で、留学生から見ても日本人の学生と友達になりにくいという問題点を発見しました。そのため最初は留学生交流サークルに顔を出し続けることから始め、徐々に留学生交流イベント運営の手伝いをさせていただく中で自分の友達同士をつなげるだけでなく、最後は自分が中心となって周りを巻き込み、イベントを開催して日本人と留学生が出会える場を提供できたらと思っています。

### **これから留学する人に対するアドバイス**

しっかり計画を立てること、留学先の文化を知ることの二点をアドバイスさせていただければと思います。自分の場合は計画が不十分だったため、大学の勉強も語学も遊びも、というようにあれもこれもの状態になってしまいました。就活やその先まで見据えた計画を立てたり、留学で何をしたいのかを明確にすることで、精神的・時間的余裕が生まれ、もう一段階充実した留学生活が送れるのではないかと思います。このことは自分だけではなく、自分と同じ境遇で交換留学に来ていた周りの日本人を見ても強く感じたことです。自分の将来や目標について考えることは大変難しく、まためんどくさいことではあると思いますが（自分もできませんでしたが）、後輩の皆さんには是非もう一度留学の計画と目標について深く考えてみてほしいと思います。二点目の留学先の文化を知ることについてですが、私は留学先を選ぶ軸として、自分が本当に興味のある国を選ぶことが大切だと思います。自分が興味を持っていれば自然と会話が生まれ、そこから人間関係が広がります。逆に自分が留学先に興味を持っていないと、相手が日本に興味を持っていないか共通の趣味関心がない限り、なかなか友達になるのは難しいかもしれません。オーストラリアの例で言うと、世界有数の美しい観光地や、カンガルーやクリケット、ワークライフバランスの良さなど独特のオージー文化を心から好きになり、楽しんでほしいと思います。当たり前のことではありますが、それ

が一番大切なことだと留学を終えて強く実感しています。（個人的にはオーストラリアも嫌いではないですが、DJが趣味なためやはりアメリカのHiphopカルチャーを体験してみたかったですし、アメリカ英語の発音を勉強していたため最後までオーストラリア英語の発音が好きになれず、やはりアメリカに行けばよかったかなという後悔もありました。）